

ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2019 表彰式を開催

～祝！活力ある地域づくり賞受賞！～



シーニックバイウエイ北海道「支笏洞爺ニセコルート」は「「みらいの森」育樹プロジェクト」により「ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2019」**活力ある地域づくり賞**を受賞したので、表彰式を以下のとおり開催します。

ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクトはシーニックバイウエイ北海道の活動で、他の模範となり将来への発展性が高く評価出来る活動を選出、表彰する取組として平成20年度から実施しています。

この度令和2年11月13日に開催された「第17回シーニックバイウエイ北海道推進協議会」において活力ある地域づくり賞を受賞した支笏洞爺ニセコルートの表彰式を行います。
傍聴・取材を希望される報道関係者の方は、当日、倶知安開発事務所までお越しく下さい。

記

- 1 日 時 令和3年3月30日（火）14：00～14：30
- 2 場 所 北海道開発局 小樽開発建設部 倶知安開発事務所
(倶知安町北7条東1丁目4番地の9)
- 3 内 容 「ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2019」表彰式

ShiriBeshi
「世界の後志」を目指して

※前年度の表彰式の状況は、こちらを御覧ください。

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/kouhou/splaat000001mkkd-att/splaat000001pxax.pdf>

※新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策としてマスクの着用、3密の回避、消毒液の設置、体温測定などを実施いたします。

【シーニックバイウエイ北海道とは・・・】

みちをきっかけに地域と行政等が連携し、『美しい景観づくり』『活力ある地域づくり』『魅力ある観光空間づくり』を目的に地域ごとに特色のある様々な活動が進められ、全道で指定13ルート、候補3ルートの約440の団体が活動しています。詳細は、シーニックバイウエイ北海道推進協議会ホームページを参照ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou_kei/ud49g7000000n0ut.html

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

特定道路事業対策官

坪西 国夫（電話 0134-23-5199）

道路計画課 課長

佐々木 博一（電話 0134-23-5229）

（小樽開発建設部ホームページ）

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ot/>





ベスト・シーニックバイウェイ

プロジェクト 2019 受賞プロジェクト一覧

受賞部門	プロジェクト名	ルート名
 最優秀賞	函館新道「花いっぱい活動」及び「シーニックdeナイト」	函館・大沼・噴火湾ルート
 部門賞 (美しい景観づくり賞)	函館新道「花いっぱい活動」及び「シーニックdeナイト」	函館・大沼・噴火湾ルート
 部門賞 (活力ある地域づくり賞)	「みらいの森」育樹プロジェクト	支笏洞爺ニセコルート
 部門賞 (魅力ある観光空間づくり賞)	きた北海道エコ・モビリティの推進 R 3 プロモーション動画の作成	天塩川シーニックバイウェイ/ 宗谷シーニックバイウェイ
 活動団体賞	地域住民と道路管理者の地域協働による板割拡幅記念植樹区間景観保全活動	札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート

(参考) 活動団体エントリーシート

活動名称

～羊蹄山ビューポイントの眺望を守り・活かす環境保全活動～
「みらいの森」育樹プロジェクト

エントリー部門

活力ある地域づくり

部門賞

ルート名称

支笏洞爺ニセコルート



2018年9月に設置したビューポイント案内看板

①活動概要(目的・目標、具体的な取り組み等)

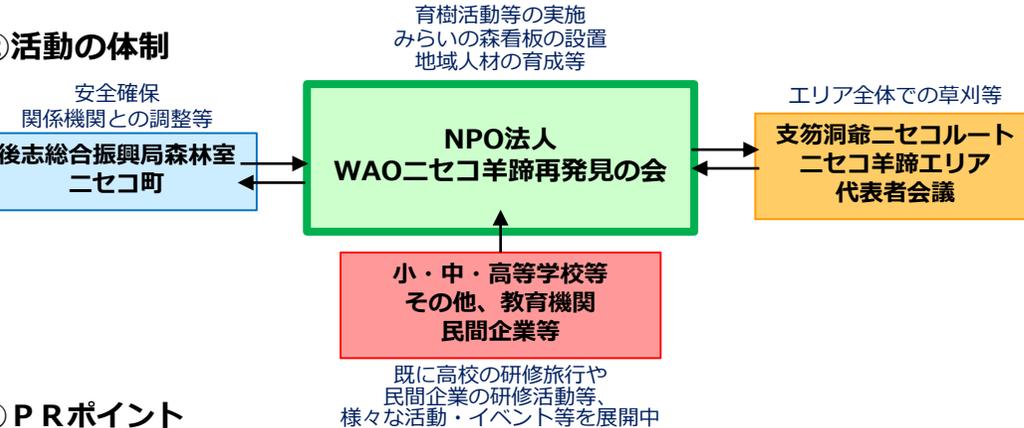
●活動の目的・目標:

羊蹄山のビューポイントとして、2018年9月29日(土)に「北海道150年記念 みらいの森育樹会」に合わせて活動を開始した「みらいの森(ニセコ町)」。シーニックバイウェイビューポイント看板も新設し、今後は、シーニックの森としての登録を目指して、さらなる森林の保全・活用を進めていく。

- 活動内容: ①シーニックビューポイントとしての**周辺環境の整備**(育樹活動・ウッドチップ敷設・デッキ設置等)
- ②同じく、シーニックビューポイントとしての各種活動時の**利活用**(集客イベント等での利用)
- ③小・中・高等学校等とした**育樹活動の実施**(修学旅行・研修旅行等)
- ④地元住民や地域活動団体を対象とした育樹会等を通じた**地域の人材育成**

- 活動期間: 平成30年度～令和2年度 (※継続展開中)
- ・実施場所: みらいの森(ニセコ町)

②活動の体制



「みらいの森 育樹会」(2018年9月29日)



「日本風景街道大学 ニセコ羊蹄キャンパス」
エクスカージョン(2019年9月21日)

③PRポイント

【総意工夫した点や苦労した点】

- ・北海道の育苗事業の役割を終えた**道有林をビューポイントとして活用**
- ・道有林の**森林ボランティア活動**等に対する積極的な**フィールド提供**
- ・各種**シーニック地域活動での活用**により「みらいの森」PRに繋がっている
- ・教育機関や民間企業等、幅広く多くの方に**活動に参加してもらう気運醸成**

【活動による効果】

- ・地域住民と来訪者による育樹活動による森林面積の拡大【環境保全効果】
- ・地域住民と来訪者による交流機会の増加【外向きの効果】
- ・来訪者に対するビューポイント提供に対する高評価【 " " 】
- ・地域資源および地域人材の活性化【内向きの効果】



地域活動団体や教育機関との連携による「みらいの森 育樹活動」※継続的に展開中

(参考) ベスト・シーニックバイウェイ・プロジェクト

平成20年度よりシーニックバイウェイ北海道の推進に向けて、他の模範となるルート活動であり、将来への発展性が高く評価できる取り組みを選出し表彰する「ベスト・シーニックバイウェイ・プロジェクト」の取り組みを実施。

ベスト・シーニックバイウェイ・プロジェクト2018
どうなん道の駅連携事業
 (どうなん・追分シーニックバイウェイルート)



ベスト・シーニックバイウェイ・プロジェクト2017
 ～地域・電線管理者と連携した「電線の見えない化」～
 ビューポイントパーキングの景観改善（電線移設）
 (支笏洞爺二セコルート)



ベスト・シーニックバイウェイ・プロジェクト2016
いにしえ街道の景観を活かした街づくり
 (どうなん・追分シーニックバイウェイルート)



ベスト・シーニックバイウェイ・プロジェクト2015
そらの森の植樹活動～地域で育てる森プロジェクト～
 (釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ)



ベスト・シーニックバイウェイ・プロジェクト2014
「ライフコンシェルジュ（ご当地風土アドバイザー）
育成事業」（トカプチ雄大空間）



ベスト・シーニックバイウェイ・プロジェクト2013
「タカラモノプロジェクト」（支笏洞爺二セコルート）



(参考) ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト

▼各賞決定までの流れ

募集開始



各ルートから活動の応募



■ 活動団体賞

各ルートによる投票

- ※対象：指定及び候補ルート
- ※自ルート以外に、持ち点10点を自由配点
- ※最多得点を得たプロジェクトを活動団体賞として選出



■ 部門賞、最優秀賞

ルート審査委員会にて審査

- ※対象：指定ルート
- ※ルート審査委員が、持ち点10点を自由配点
- ※最多得点を得たプロジェクトを部門賞候補として選出
- ※選出された部門賞候補から最優秀賞を選出



推進協議会にて活動団体賞、部門賞及び最優秀賞を決定

(参考) ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト

ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト2019のエントリー状況等

<表彰>

●活動団体賞 1 件（指定・候補ルートを対象） 【エントリー数 16 件】

●部門賞 3 件（指定ルートを対象）

<エントリー部門>

①美しい景観づくり賞 【エントリー数 4件】

②活力ある地域づくり賞 【エントリー数 4件】

③魅力ある観光空間づくり賞 【エントリー数 5件】

●最優秀賞「ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト2019」1 件（指定ルートを対象）

部門賞の中から 1 件選出

<評価の視点>

地域の資源を発見・活用し、有形・無形の「新しい価値」を生み出しているか否かに評価の軸を置くと共に、以下の点に留意し、プロジェクトの評価を行う。

－部門賞及び大賞－

- 持続性（取組の継続性の程度を評価）
- 浸透性（地域内への広がり程度の程度を評価）
- 拡張性（モデルケースとしての地域外へ展開の程度を評価）
- 連携性（地域同士や他団体との連携の程度を評価）
- 先進性（新しいものに取組んでいく姿勢の程度を評価）
- 効果性（定量的・定性的な効果の程度を評価）
- 人材育成